

# できごと

なことがありました

## 出雲大社「平成の大遷宮」奉祝行事・事業

- ◆ 国宝である御本殿の修造を終えた出雲大社で、今年、60年ぶりとなる「平成の大遷宮」が執り行われました。5月10日には、「本殿遷座祭」が執り行われ、これを記念して、出雲大社「平成の大遷宮」奉祝行事が5月12日から6月9日までの29日間連続で開催されました。出雲大社東神苑に特設ステージを設け、出雲神楽・石見神楽など県内の伝統芸能が上演されたほか、東日本大震災被災地の伝統芸能や能・狂言、舞楽、雅楽などの日本古来の芸能、演劇や朗読、コンサートなど、さまざまなジャンルの奉祝行事が行われました。このほか、出雲大社荒垣内や松の参道などでも伝統行事や流鏝馬などの奉納行事が一般に公開され、全国から多くの参拝客・観光客が訪れ、にぎわいました。
- ◆ 出雲大社正遷宮を前に、門前町にふさわしい景観道路として整備が進められていた神門通り整備事業（第1期工事）の完成式典が3月に行われました。この事業は、神門通り（勢溜から吉兆館の間730m）のうち、勢溜から一畑電車出雲大社前駅までの330mの区間を平成23年6月から電線類地中化工事に着工し、石畳舗装、デザイン照明などの工事を経て、景観を意識した門前道路として整備したものです。



▲舞舞(津和野町)  
～出雲大社 荒垣～



石畳となった神門通りを練り歩く戸畑祇園大山笠（北九州市）▶

- ◆ 出雲大社「平成の大遷宮」を奉祝し、出雲国風土記高層神殿追体験事業を行いました。この事業は、出雲国風土記に「出雲大社の宮材を造る山」と記される吉栗山（佐田町）から、長さ17m、重さ4トンの杉の巨木を3本伐採。8月に運び出し、9月に神戸川を流した後、10月に大社の神門通りを人力で里曳びきし、一連の追体験の集大成として11月、出雲大社へ柱を立てるといふものです。建立した3本柱は1年間、今のまま公開することとしています。

◀出雲国風土記「高層神殿」追体験事業「巨木の里曳き」～出雲大社勢溜～

4月

## 長岡市長2期目スタート



4月、任期満了に伴う出雲市長・市議会議員一般選挙により、長岡市政の2期目がスタートしました。市のめざすべき将来像として、「げんき、やさしさ、しあわせあふれる縁結びのまち 出雲」の実現を掲げ、徹底的な情報公開、次世代に高負担を強いることのない、持続可能な財政運営を行い、若者たちに夢を提供できるような活力ある出雲をめざして、市政運営に取り組んでいます。

105

4月

## 向陽中学校開校

4月6日、灘分町に新設した向陽中学校の開校（竣工）式を行いました。旧旭丘中（檜山・東・伊野地区）の生徒に、灘分地区の生徒も加わった新1年生96人を含む全校生徒186人と教職員、地元住民等約400人が、新たな学校の門出を祝いました。



4月

## デジタル式防災行政無線（出雲市南部・湖陵地域）運用開始

佐田・多伎・湖陵・出雲南部地域で進めていた「デジタル式防災行政無線設備整備事業」は、湖陵・出雲南部地域（上津・稗原・朝山、乙立）の整備が完了（佐田・多伎地域は24年度運用開始）し、4月11日運用を開始しました。この整備により、双方向通信が可能となり、災害で孤立した場合でも情報の収集や伝達を行うことができるようになり、高速データ通信や映像通信など情報収集の多様化にも対応し、さらにJアラート（全国瞬時警報システム）とも接続を開始しています。

## 里見香奈女流棋士の活躍

4月のマイナビ女子オープンで、3連勝して女王を奪取した里見香奈女流棋士は、史上初の女流5冠となりました。また、将棋のプロ棋士養成機関「奨励会」では、7月の関西奨励会例会で昇段規定を満たし、女性初の奨励会二段に昇段するなど、女流棋士界を引っ張る活躍を見せています。

# 主な

## 2013年

平成 25 年

### この一年、いろいろ

5月

## 57年ぶり出雲市出身関取誕生



5月に開かれた日本相撲協会の番付編成会議で、出雲市出身の琴弥山関（佐渡ヶ嶽部屋）が十両（関取）に昇進しました。平成11年の初土俵から所要85場所で、史上4位のスロー出世となりましたが、出雲市出身の関取誕生は57年ぶりのことであり、今後のさらなる活躍に期待が高まっています。

6月

## 斐伊川放水路竣工

洪水時に斐伊川の水の一部を神戸川へ分流させ、下流部の水位を低下させて洪水を防ぐ斐伊川放水路の竣工式が、6月、放水路左岸（南側）の残土処理場（グリーンステップ：上塩冶町）で行われました。この放水路事業は、上流のダム建設（尾原ダム・志津見ダム）と、下流の大橋川改修とを合わせた「斐伊川・神戸川治水計画」の3点セットの一つで、昭和50年（1975年）に「斐伊川・神戸川の治水に関する基本計画」が発表されてから、約40年の歳月を経て竣工しました。



8月

## 「愛しきわが出雲」発表



竹内まりやさんを含め総勢100名の合唱団でレコーディング

大社町出身のシンガーソングライター竹内まりやさんから、故郷への思いを込めた楽曲を市にご提供いただき、市は、この曲のCDを製作しました。市民の皆さんが気軽に口ずさみ、ともに歌っていただくことで、さらに出雲を愛していただき、「出雲市」の良さをPRする歌として活用しています。



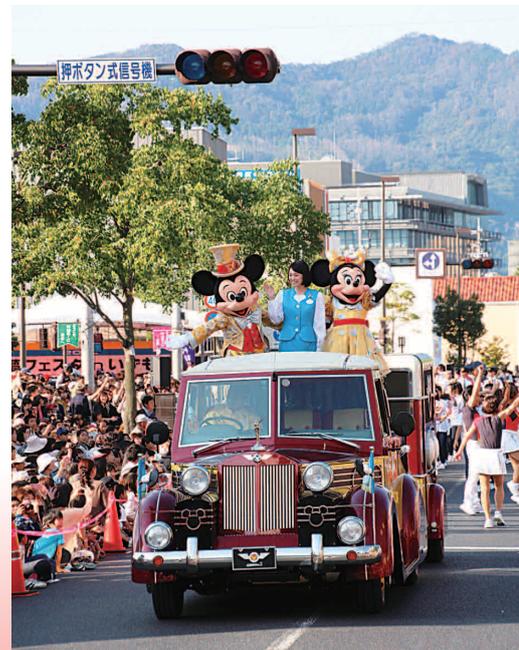
## 原子力防災対策

東日本大震災における福島第一原子力発電所事故の発生を受け、市では、原子力災害から市民の安全・安心を確保するために、3月「地域防災計画（原子力災害編）」を策定しました。また、周辺3市（出雲市・安来市・雲南市）は、原子力災害のリスクを立地自治体と同様に抱えているにも関わらず、発電所の計画等に対する事前了解等、中国電力㈱に対し、意見が言える権限を持ち得ていないことから、10月、県知事へ「原子力安全協定に関する要望書」を周辺3市の3市連名で提出しました。これを受けて、県は、島根原発に関する重要な判断や回答をする際、市の意見を聞くことにした覚書を締結したことは、一歩前進と考えます。中国電力㈱に対しては、立地自治体並みの安全協定の締結を求める「原子力安全協定の締結に関する要求書」を提出しましたが、協定締結には至らず、今後も継続して協議をすることになりました。さらに、11月、原発の安全対策に対して、周辺自治体が立地自治体と同様に関与できる新しい制度を国の責任で創設するように、国に対して、「原子力発電所の立地にかかる関係自治体の権限に関する要望書」を提出しました。今後も、引き続き原子力災害から市民の安全・安心を確保するために、関係機関への要望や働きかけを含め積極的に取り組みます。

10月

## 東京ディズニーリゾート® スペシャルパレード

ミッキーマウスとミニーマウスが参加する、東京ディズニーリゾート® スペシャルパレードが「夢フェスタ in いすも」に合わせ、くびき中央通り（今市町）で行われ、約3万5千人の大勢の見物人が、ミッキーらに声援を送りました。この日はミッキー、ミニート、東京ディズニーリゾートアンバサダー（親善大使）が乗車したリマウジンⅡを中心に、前後に地元高校生によるマーチングバンド、ディズニーリゾートダンサー、地元キッズダンサーの総勢約130人が、全長約700mを行進しました。



9月

## 災害応援職員派遣

市では、7月28日及び8月23日を中心とした豪雨による災害応援要請を受け、9月から津和野町へ、10月から江津市及び浜田市へ市職員を派遣しました。